

【様式1】 CAN-DO LIST 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	大学科:	普通科
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		学年	2年

領域	達成	CAN-DO Statement (CDS)	Lesson	評価方法	学期	CS
Listening	L1 □	世界各地のダンスについての対話やレポートから、概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取ることができる。	1	考查	1	ア
	L2 □	社会的な問題についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取ることができる。	5, 7	考查	2	イ
	L3 □	eスポーツや電子辞書の長所と短所についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取ることができる。	10	考查	3	イ
Reading	R1 □	野生動物の保護活動について、概要や要点、詳細を読み取ることができる。	3	考查	1	ア
	R2 □	社会問題とその解決のための取り組みについての記事を読み、概要や要点、詳細を読み取ることができる。	5, 8	考查	2	イ
	R3 □	ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方についての記事を読み、概要や要点、詳細を把握することができる。	9	考查	3	イ
Speaking Interaction	SI1 □	日本の文化や好きなキャラクターについて、多様な語句や文を用いて、詳しく伝え合うことができる。	2, 4	インタビューテスト/ロールプレイング/考查	1	ア
	SI2 □	社会問題に取り組む発明家や起業家について、多様な語句や文を用いて、詳しく伝え合うことができる。	8	インタビューテスト/ロールプレイング	2	イ
	SI3 □	幸せを感じる時について、多様な語句や文を用いて、自分の考えを詳しく話して伝え合うことができる。	9	インタビューテスト/ロールプレイング/考查	3	イ
Speaking Presentation	SP1 □	絶滅の危機にある動植物について、グループで話し合った内容をもとに、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。	3	スピーチ	1	ア
	SP2 □	参加してみたい国際ボランティア活動について、グループで話し合った内容をもとに、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。	5	スピーチ	2	イ
	SP3 □	eスポーツや電子辞書の長所と短所について、多様な語句や文、議論でよく使う表現などを用いて、理由や根拠とともに情報や考えを発表することができる。	10	スピーチ	3	イ
Writing	W1 □	自分の経験や日常生活で感じることにについて、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。	2, 4	考查/エッセイライティング	1	ア
	W2 □	世界各地に存在する壁画アートに込められたメッセージについて、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。	6	考查/エッセイライティング	2	イ
	W3 □	eスポーツや電子辞書の長所と短所について、多様な語句や文、議論でよく使う表現などを用いて、自分の意見の根拠や具体例を複数の段落で書いて伝えることができる。	10	考查/エッセイライティング	3	イ

※左のCSは学習指導要領を意味します。その内容は別のシートにあります。

【様式2】 年間指導計画 2024

学校名:	鹿児島県立鹿児島南	高等学校	学 年:	2年
科目名:	英語コミュニケーションⅡ		大学科:	普通科

学期	月	Lesson	領域	CS	評価方法	達成	CAN-DO Statement (CDS)
1	4	1	L	ア	考査	L1□	世界各地のダンスについての対話やレポートから、概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取ることができる。
	5	2	SI	ア	インタビュー/インタビュー/グループ/ライティング/ライティング/エッセイ	SI1□	日本の文化や好きなキャラクターについて、多様な語句や文を用いて、詳しく伝え合うことができる。
	5	2	W	ア	ライティング/エッセイ	W1□	自分の経験や日常生活で感じることについて、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。
	6	3	R	ア	考査	R1□	野生動物の保護活動について、概要や要点、詳細を読み取ることができる。
	6	3	SP	ア	スピーチ	SP1□	絶滅の危機にある動植物について、グループで話し合った内容をもとに、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。
	7	4	SI	ア	インタビュー/インタビュー/グループ/ライティング/ライティング/エッセイ	SI1□	日本の文化や好きなキャラクターについて、多様な語句や文を用いて、詳しく伝え合うことができる。
	7	4	W	ア	ライティング/エッセイ	W1□	自分の経験や日常生活で感じることについて、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。
2	9	5	L	イ	考査	L2□	社会的な問題についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取ることができる。
	9	5	R	イ	考査	R2□	社会問題とその解決のための取り組みについての記事を読み、概要や要点、詳細を読み取ることができる。
	9	5	SP	イ	スピーチ	SP2□	参加してみたい国際ボランティア活動について、グループで話し合った内容をもとに、多様な語句や文を用いて、情報や考えを発表することができる。
	10	6	W	イ	ライティング/エッセイ	W2□	世界各地に存在する壁画アートに込められたメッセージについて、読んで得られた情報を活用しながら、多様な語句や文を用いて、詳しく書いて伝えることができる。
	11	7	L	イ	考査	L2□	社会的な問題についての対話の概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取ることができる。
	11	8	R	イ	考査	R2□	社会問題とその解決のための取り組みについての記事を読み、概要や要点、詳細を読み取ることができる。
	12	8	SI	イ	インタビュー/インタビュー/グループ/ライティング/ライティング/エッセイ	SI2□	社会問題に取り組む発明家や起業家について、多様な語句や文を用いて、詳しく伝え合うことができる。

3	1	9	R	イ	考 査	R3□	ホセ・ムヒカさんの幸せに対する考え方についての 記事を読み、概要や要点、詳細を把握することが できる。
	1	9	SI	イ	査 レス イン イト イ ン グ ロ ビ ユ ー ル 考 テ	SI3□	幸せを感じる時について、多様な語句や文を用い て、自分の考えを詳しく話して伝え合うことが できる。
	2	10	L	イ	考 査	L3□	eスポーツや電子辞書の長所と短所についての対話 の概要や要点、詳細、必要な情報を聞き取るこ とができる。
	2	10	SP	イ	ス ピ ー チ	SP3□	eスポーツや電子辞書の長所と短所について、多 様な語句や文、議論でよく使う表現などを用い て、理由や根拠とともに情報や考えを発表するこ とができる。
	2	10	W	イ	ラ 考 イ 査 テ イ ン グ セ イ	W3□	eスポーツや電子辞書の長所と短所について、多 様な語句や文、議論でよく使う表現などを用い て、自分の意見の根拠や具体例を複数の段落で書 いて伝えることができる。

英語コミュニケーションⅡ 科目の目標

聞くこと	ア 日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
読むこと	ア 日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、文章の展開や書き手の意図を把握することができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、概要や要点、詳細を目的に応じて捉えることができるようにする。
話すこと [やり取り]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを詳しく話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝え合うことができるようにする。
話すこと [発表]	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して詳しく伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して詳しく話して伝えることができるようにする。
書くこと	ア 日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。
	イ 社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、一定の支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができるようにする。